

第3回八ッ場ダムモニタリング委員会

議事概要

「第3回八ッ場ダムモニタリング委員会」において、八ッ場ダムに関するモニタリング調査結果、モニタリング調査計画等の審議を行った。

主な審議結果は、以下のとおりである。

- 植物プランクトンの黄金色藻が珪藻に比べ増加傾向にあることや動物プランクトンの節足動物が増加していることは、湖内の水質が良い傾向にあると考えられる。
- 哺乳類において湛水前後でコウモリ類のみ確認できていない種があるため、次年度以降も確認に努めてほしい。
- ホタル類の保全是、引続き地元の団体と連携しながら継続していくことが重要である。また、地域個体群を維持することも重要であるため、他の地域の異なる遺伝子に移入しないよう留意すると良い。
- 湛水前後におけるアユの体長と体重の比較は、餌となる付着藻類の量も比較し評価するとよい。
- ハリエンジュを含む植物外来種の分布状況について調査結果をとりまとめること。
- モニタリングの対象範囲内にある原石山法面植生は、実施可能な計画を立案・遂行することが望ましい。
- モニタリング調査結果の総括における「現状と課題」「今後の対応方針」は、次年度調査に反映されるものであることから、それぞれの根拠を示しつつ、今後の調査をどのように進めるのかが分かるよう丁寧に記載すべき。

以 上